

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 7

小松島名水物語

徳島県 小松島市長
いなだ よねあき
稲田 米昭



1 はじめに

小松島市は、徳島県の東端に位置し、紀伊水道に面した港湾都市であり、古くから海陸交通の要衝地として栄え、中心部には、勝浦川の沖積による小松島平野と那賀川の沖積による立江・坂野平野が広がり、これを取り囲むように、北には日ノ峰山、南には四国山系東端の丘陵があります。面積45.11平方キロメートル、人口約4万3千人で、「優(YOU)・愛(I)タウン・小松島」という都市像のもと、人に優しい市民が主役のまちづくりを推進しています。

2 小松島名水物語

小松島市は、豊かな自然環境に恵まれておりま

すが、とりわけ水に恵まれた土地です。水はその街の自然の状態を表すバロメータであり、美しい水のある街には水を大切にする人々と美しい自然があります。市の地下を流れる剣山山系の豊かな地下水により、往古より天然の地下水に恵まれ掘り抜き井戸として湧き出し、日常の生活にこの名水を利用してきました。特に地蔵寺境内の「宝寿水」は足利阿波公方阿波藩主蜂須賀公が来訪の折、所望賞賛された名水と伝えられております。

市内の地下水は網の目のように絡み合い、奥深く横たわる天然の浄化装置の中をくぐり抜け小松島湾に流れています。まさに、無数の水系の上に浮かんだ街・小松島であるといえましょう。



地蔵寺「宝寿水」